

<要旨>

革新学校における民主的学校文化構築の試み
—生徒自治活動と教師に着目して—

龍谷大学 出羽孝行

本研究は2009年に京畿道教育厅によって始められた革新学校における生徒自治活動に着目する。具体的には、革新学校で勤務する（していた）教師に対するインタビュー調査を元に革新学校での生徒自治の実態を探ることにより、生徒自治活動の根底にある民主的学校文化の形成の一端を明らかにする。

革新学校は「民主的学校運営体制を基盤に倫理的生活共同体と専門的学習共同体を形成し、創意的教育課程を運営して児童生徒の生きる力を育てる学校革新のモデル学校」（경기도교육청 [2015] 「혁신학교 우리가 함께 만들어 갑니다」、p.6）とされる。従来の韓国の学校における問題点とされてきた、入試競争中心主義や権威的な学校文化を克服することを目的として始められた公立学校の新たなモデルである。先行研究では一般学校よりも革新学校で生徒の自治活動が活性化されているといわれるが、これは単に教育課程の中に積極的に生徒会活動が組み込まれているだけではなく、学校文化を民主的なものにするための取り組みが関係していると考えられる。

つまり、教師の自律性の尊重、教師による教育課程再構成と授業革新、そして教師同士、あるいは教師と生徒との信頼関係といった革新学校の特徴の元に生徒の自治活動の活性化があると考えられる。本研究では事例を用いて、そうした構造の一端を明らかにする。